

AK Recorder

Astell&Kern

INSTRUCTION BOOK

ユーザーガイド

IRIVER

目次

はじめに _01

プレイヤーとの接続	02
パッケージの内容	03
AK Recorder 各部の名称	05
組み立て	07
電源管理	08

本製品の使い方 _02

メインメニュー	10
設定	12
プリセット	16
録音画面	17
録音	18
ファイルリスト画面	22
ファイル管理	23
再生	24
再生画面	25

補足 _03

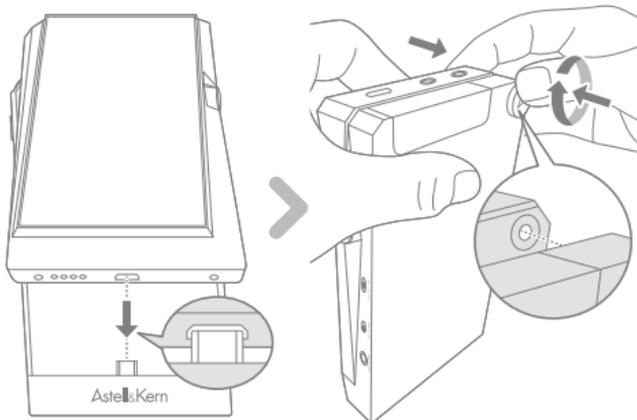
安全上のご注意	27
トラブルシューティング	29
AK Recorder の仕様	31
DPA SC4061 マイクロフォンの仕様	33
著作権	34
認証	34
登録商標	35
免責事項	35

プレイヤーとAK Recorderの接続

プレイヤーとの接続

AK Recorder は、300 シリーズの AK ポータブルメディアプレイヤーと一緒に使用できます。

1. 下の図のように、対応の AK メディアプレイヤーを AK Recorder のコネクタに慎重に接続します。
2. AK Recorder の背面にあるボルトを締めて、ポータブルプレイヤーとレコーダーをしっかりと固定します。



AK Recorder に接続できるのは、AK380、AK320、AK300 だけです。AK320 と AK300 は、今後のファームウェアアップデートで対応予定です。しっかりと固定していないと、使用中にボルトが緩み、AK Recorder が外れてしまう可能性があります。使用前に、ボルトがしっかりと固定されていることを確認してください。

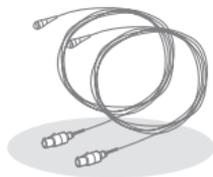
パッケージ の内容

パッケージの内容は、製品の性能や品質向上のために予告なく変更されることがあります。AK Recorder は、スタンドアロン製品としてだけでなく、DPA マイクロフォンキットを含むバンドル製品としても提供されています。付属品は、購入されたパッケージによって異なります。

● DPA マイクロフォンキット



AK Recorder



SC4061 マイクロフォン



マイクスタンド



マグネット
ホルダー



ラバー
ホルダー



ストリング
ホルダー



ウィンドス
クリーン



三脚グリップ



ミニ XLR-to
-XLR ケーブル



クイックスタートガ
イドと製品保証書

● スタンドアロンキット



AK Recorder



ミニ XLR-to
-XLR ケーブル



クイックスタートガ
イドと製品保証書

DPA SC4061 マイクロフォン: DPA SC4061 マイクロフォンは、AK Recorder の底面にあるミニ XLR 入力端子に接続できます。マイクを使用する場合には、ファンタム電源を 5 V に設定してください。

マイクスタンド: AK Recorder の上部にある取り付け穴にステレオマイクスタンドを取り付けます。

三脚グリップ: AK Recorder をプレイヤーと一緒に使用する場合に使用します。ボルトを回してグリップを調整します。

マグネットホルダー: ステレオマイクスタンドに取り付けた後に、マグネットホルダーの溝に SC4061 マイクロフォンを固定します。

ラバーホルダー: ピアノなどの演奏を録音する場合には、ラバーホルダーの溝に SC4061 マイクロフォンを固定します。

ストリングホルダー: バイオリンやチェロなどの演奏を録音する場合には、ブリッジとテールピースの間に取り付けて、ストリングホルダーの溝に SC4061 マイクロフォンを固定します。

ウィンドスクリーン: SC4061 マイクユニットにウィンドスクリーンを被せます。

ミニ XLR-to-XLR ケーブル: このケーブルは、AK Recorder の底面にあるミニ XLR 入力端子に標準の XLR コンデンサーマイクを接続する場合に使用します。

クイックスタートガイド: 本製品の機能を簡単に説明します。

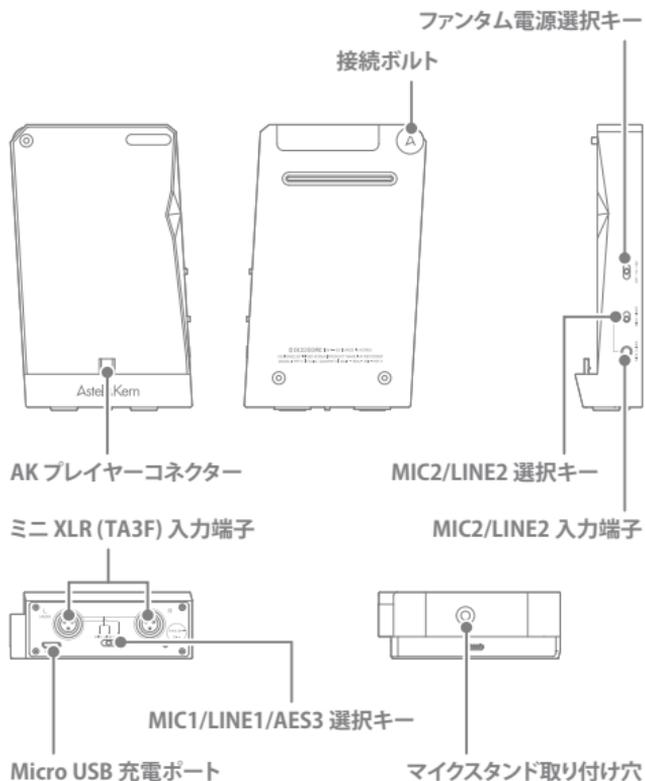
製品保証書: カスタマーサポートやテクニカルサポートの利用時に必要になります。紛失しないように注意してください。



スタンドアロン製品には、SC4061 マイクロフォンとその付属品は含まれていません。同梱のミニ XLR-to-XLR ケーブルで外部マイクに接続できます。

DPA マイクロフォンアクセサリキットに含まれる付属品は、製品の性能や品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

各部の名称 製品の外観と印刷および刻印内容は、モデルによって変更される場合があります。



AK プレイヤーコネクタ: AK Recorder を対応の AK メディアプレイヤーに接続します。

ミニ XLR (TA3F) 入力端子: 3 ピンのミニ XLR マイクを直接接続します。標準の XLR コンデンサーマイクは、製品に同梱のミニ XLR-to-XLR ケーブルで接続します。

MIC1/LINE1/AES3 選択キー: 必要な機能を選択キーで選択します。

Micro USB 充電ポート: Micro USB ケーブルを使用して AK Recorder を充電します。

ボルト: 付属のボルトを使用して、対応の AK メディアプレイヤーを AK Recorder に固定します。

MIC2/LINE2 入力端子: LINE 入力経由で録音する場合、電源不要のダイナミックマイク (パッシブマイク)、電源が必要なコンデンサーマイク (アクティブマイク)、他の外部デバイスを接続できます。

MIC2/LINE2 選択キー: 必要な機能を選択キーで選択します。

ファンタム電源選択キー: ミニ XLR 入力端子に接続したマイクの電源レベルを選択します。

マイクスタンド取り付け穴: マイクスタンドを取り付け穴に固定します。



AES3 機能が使用できるのは、左側のミニ XLR 入力端子だけです。ミニ XLR-to-XLR 変換ケーブルを使用すると、AK Record にプロフェッショナルコンデンサーマイクを接続できます。

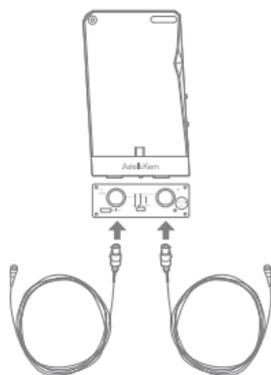
MIC1/LINE2/AES3 または MIC2/LINE2 選択キーを必要な位置に設定したら、対応する入力端子をメイン画面の [入力] メニューで選択してください。本製品の底面にある MIC1 経由で録音する場合には、LINE2 を選択してください。LINE1 経由で録音する場合には MIC2 を選択してください。ファンタム電源の設定を行う前に、マイクの電源仕様を確認してください。非対応のマイクでファンタム電源を使用すると、マイクが損傷する可能性があります。

ファンタム電源を必要とするマイクを使用する場合には、[設定] で [ファンタム電源] を有効にしてください。設定が無効になっていると、マイクが機能しません。

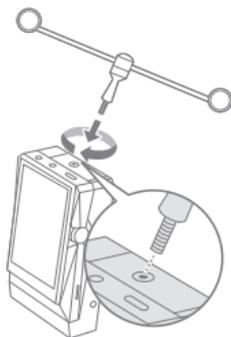
組み立て

DPA マイクロフォンキットの組み立て

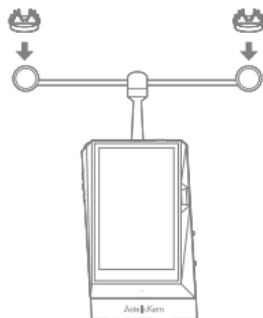
1. パッケージに同梱のマイクを AK Recorder の底面にあるミニ XLR コネクターに接続します。



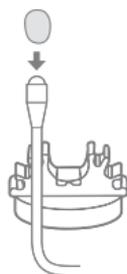
2. AK Recorder の上部にある取り付け穴にマイクスタンドを取り付けます。



3. マイクスタンドの両側にマグネットホルダーを取り付けます。



4. マイクにウィンドスクリーンを被せ、マグネットホルダーの溝に SC4061 マイクロフォンユニットの底面を固定します。



5. AK Recorder に接続するときに、ボルトを三脚グリップの右側に回し、グリップを長くします。



電源管理

充電

1. 録音中の充電性能を最適にするため、別売の 5V 3A アダプターを使用してください。
2. AK Recorder を AK メディアプレイヤーに接続しない場合には、通常の 5V 2A アダプターを使用できます。



録音中に画面が消えた場合、画面に軽く触れると表示されます。複数の電圧 (5 V、9 V、12 V など) に対応している高速充電アダプターでは本製品を充電できません。本製品が損傷する可能性があります。

AK Recorder に AK メディアプレイヤーが接続されている間、5 V 2 A アダプターでは十分な充電ができません。プレイヤーと AK Recorder を接続していない場合にのみ、5 V 2 A アダプターで充電を行ってください。製品の接続中に充電性能を最適にするため、別売の 5 V 3 A アダプターを使用してください。

電源のオン/オフ

1. AK Recorder に電源ボタンはありません。
2. 対応の AK メディアプレイヤーを AK Recorder に接続して固定し、AK メディアプレイヤーに電源をオンにします。
3. 対応の AK デバイスが AK Recorder に正常に接続されると、メッセージが表示されます。「レコーダーが接続されました」というメッセージが表示された後で、AK メディアプレイヤーのメインメニューの上部に [REC] メニューが表示されます。
4. [REC] メニューを選択して、AK Recorder のメインメニューを開きます。
5. AK Recorder のメインメニューの下部にある [閉じる] ボタンを押し、接続した AK メディアプレイヤーのメインメニューを表示します。

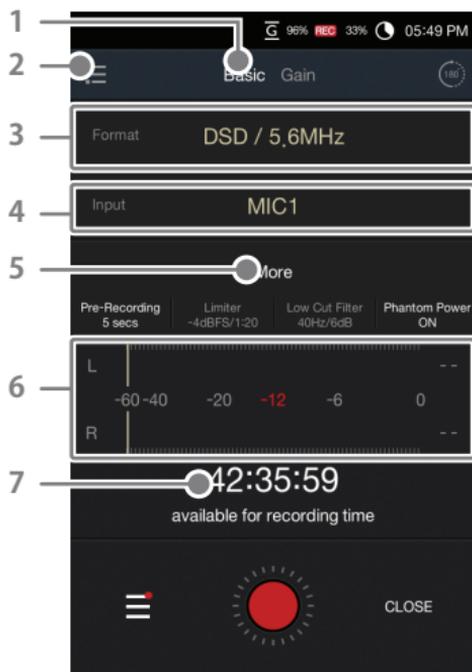


電源のオン/オフ、画面のオン/オフ、リセット機能の詳細については、各 AK デバイス (AK380、AK320、AK300 など) の取扱説明書を参照してください。

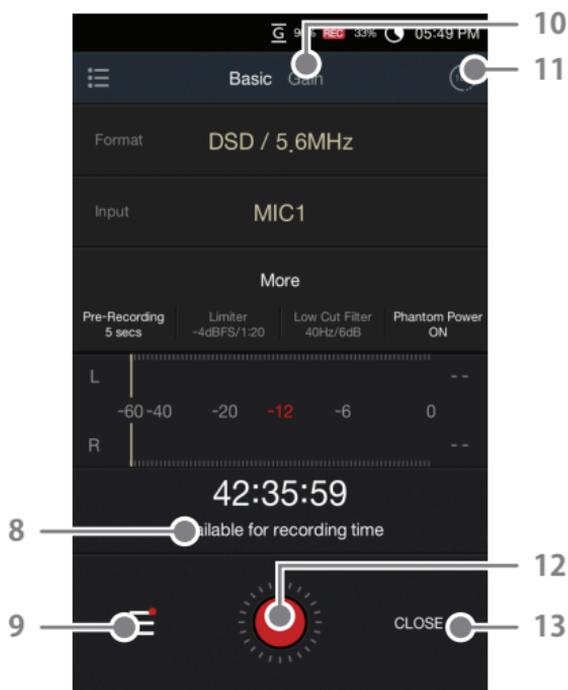
録音中または充電中に本製品が熱くなる場合があります。ただし、製品の性能や録音の品質に影響を及ぼすことはありません。

長時間録音を行う場合や録音中に充電する場合には、三脚の使用を推奨します。

AK Recorder メインメニュー



- | | |
|------------|---------------------------------|
| 1 基本設定 | 録音の基本的な設定が表示されます。 |
| 2 プリセットリスト | プリセット値をインポートしたり、新しいプリセットを作成します。 |
| 3 録音フォーマット | 録音ファイルのフォーマットを設定します。 |
| 4 音源 | 録音の音源を設定します。 |
| 5 その他の設定 | 詳細な録音オプションを設定します。 |
| 6 レベルメーター | 入力信号の強度がデシベル (dB) 単位で表示されます。 |
| 7 録音時間 | 録音可能な時間または現在の録音時間が表示されます。 |



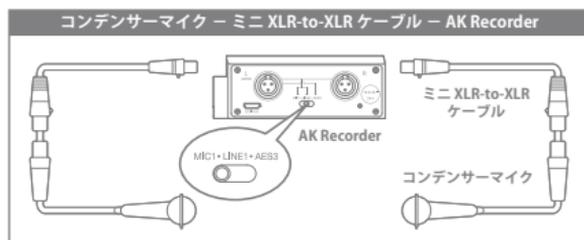
- | | | |
|----|---------|-----------------------------|
| 8 | ファイル名 | ファイル名が表示されます。 |
| 9 | ファイルリスト | 録音ファイルのリストが表示されます。 |
| 10 | ゲイン設定 | マイクまたはプリアンプゲインのオプションを設定します。 |
| 11 | 画面の回転 | 画面を 180 度回転します。 |
| 12 | 録音 | 録音を開始します。 |
| 13 | 閉じる | 録音機能を終了します。 |

設定

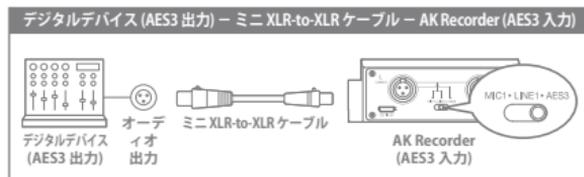
基本的なオプションを設定します。

画面で [基本] を選択します。

- フォーマット: 録音ファイルのフォーマットを設定します。
- 入力: 入力源を設定します。
 - [MIC1] ファンタム電源を必要とする外部マイクで録音します。
バンドル製品に同梱の SC4061 マイクロフォンはミニ XLR 端子に直接接続できます。標準の XLR マイクの場合には、下の図のようにミニ XLR-to-XLR ケーブルを使用して接続します。

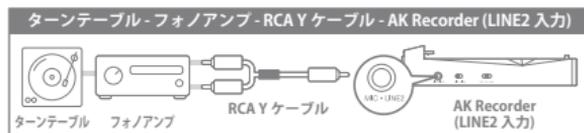


- [LINE1] ミニ XLR ケーブルで接続した外部音源から録音します。
- [AES3] AES3 または AES/EBU デジタル出力端子に接続した外部音源から録音します。下の図のように、AES3 デジタル出力端子付きのレコーディングコンソールまたはデバイスに AK Recorder を直接接続し、録音することができます。



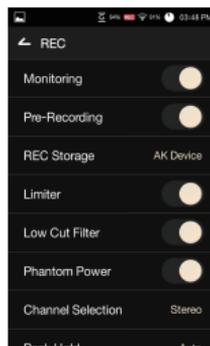
- [MIC2] LINE 入力経由で録音する場合、電源不要のダイナミックマイク (パッシブマイク)、電源が必要なコンデンサーマイク (アクティブマイク)、他の外部デバイスを接続できます。

- [LINE2] 別売の 3.5 mm ケーブルで接続した外部音源から録音します。下の図のように、別売の RCA Y ケーブルを使用して、ターンテーブルなどの外部音源をアナログ出力付きのフォノアンプに接続し、AK Recorder で直接録音することができます。



- 他の機能: 詳細な録音オプションを設定します。

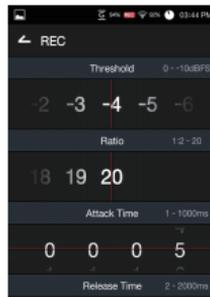
- モニタリング: モニタリング機能を有効または無効にします。有効にすると、録音前にリアルタイムで音を聴くことができます。2、3 秒待機した後、画面に「準備完了」が表示されます。



- プレ録音: プレ録音機能を有効にして、時間 (2 秒、3 秒、5 秒または 10 秒) を設定します。プレ録音機能を使用する前に、モニタリングを有効にする必要があります。

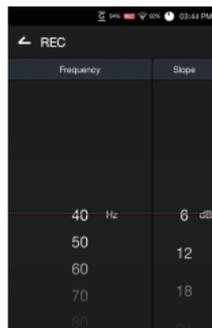
- REC ストレージ: 録音ファイルの保存場所を設定します。内部ストレージまたは SD カードを選択できます。

- リミッター: リミッター機能を有効または無効にします。dBFS の最大値、スロープ、時間を設定します。リミッター機能は信号の歪みを補正し、過度な入力レベルを検出したときにクリッピングを防止します。リミッターのベース閾値は 0 ~ -10dBFS の間で設定できます。圧縮率 (スロープ値) は 1:2 ~ 1:20 の間で設定できます。1:20 はリミッターの最大スロープ値になります。



アタックタイム (信号圧縮時間) はリミッターの作動時間を表します。リリースタイムにはリミッターの解放時間を設定します。既定値: 閾値 -4dBFS、圧縮率 1:20、アタックタイム 5 ms、リリースタイム 200 ms。

- ローカットフィルター (ハイパスフィルター): ローカットフィルター機能を有効または無効にします。周波数とスロープ値を設定します。ローカットフィルターを有効にすると、環境内の反響音だけでなく、低周波音を効果的に除去できます。スロープは 6 dB ~ 24 dB の間で設定できます。周波数は 40 Hz ~ 240 Hz の間で設定できます (10 Hz 単位)。たとえば、スロープを 6 dB、周波数を 50 Hz に設定すると、50 Hz より低い低周波音が 6 dB のスロープで減衰します。既定値: スロープ 6 dB、周波数 40 Hz
- ファンタム電源: ファンタム機能を有効または無効にします。
- チャンネル選択: ステレオまたはモノを選択します。
- AES3 フォーマット: AES3 経由で接続した外部音源のオーディオを録音するときの録音フォーマット (16 ビットまたは 24 ビット) を設定します。選択したビット値に従って AES3 経由で録音が実行されます。
- ピークホールド: 入力信号の最大値の維持を手動で行うのか、自動的に行うのかを設定します。



AK Recorder を接続している AK メディアプレイヤーの画面タイムアウト設定に従って、画面が録音中にオフになります。画面に軽く触れると表示されます。

リミッターやローカットフィルターなどの機能を使用するには、使用前に、録音対象や環境に応じて詳細設定を行う必要があります。録音対象や環境に適さない設定を行うと、録音品質に影響を及ぼす可能性があります。録音フォーマットが DSD または 352.8 kHz 以上に設定されている場合、リミッター機能とローカットフィルター機能は使用できません。

録音中に使用できない機能もあります。

画面から入力源を選択したら、その選択に合わせて AK Recorder の底面または側面にあるキーを設定します。画面の選択とキーが一致しないと、録音機能が正常に動作しません。

ファンタム電源を必要とする外部マイクを使用する場合には、ファンタム電源の正しい設定値を選択してください。無効な設定を行うと、マイクが損傷したり、正しく録音されない場合があります。

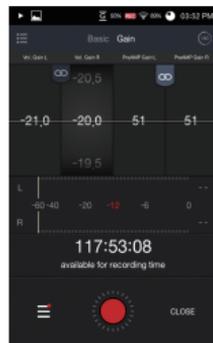
外部デバイスを LINE1、LINE2 または AES3 に接続すると、プリアンプゲイン機能は無効になります。

DSD 録音の場合、録音前に正確なデータ測定が必要になります。このため、モニタリング機能を有効にした後、約 15 秒ほどデータの検証が実行されます。この 15 秒間、マイクの音声は聞こえますが、録音機能は実行できません。

マイク/プリアンプゲインの設定

マイク音量とプリアンプゲイン設定はタッチ画面で簡単に調節できます。ホーム画面で [ゲイン] を選択します。

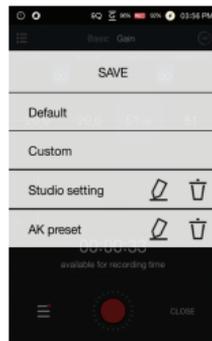
- 音量ゲイン: MIC1/LINE1/AES3 または MIC2/LINE2 に接続したマイクまたは外部デバイスから録音する場合、入力音量をゲイン値で調整できます。
 - 左と右のゲイン値は別々に設定できます。
 - [🔒] アイコンを有効にしてロックすると、右と左のゲイン値を同時に調節できます。
- プリアンプゲイン: プリアンプゲイン機能は音量ゲイン機能と似ています。この機能はマイク接続時のみ使用できます。外部デバイスを LINE1、LINE2 に接続すると、プリアンプゲイン機能は無効になります。外部デバイスを AES3 に接続すると、マイク音量とプリアンプゲイン機能は無効になります。
 - 左と右のゲイン値は別々に設定できます。
 - [🔒] アイコンを有効にしてロックすると、右と左のゲイン値を同時に調節できます。



プリセット ゲイン設定をプリセットとして保存し、後で再利用できます。

プリセットをインポートする

1. 画面から [≡] を選択して、プリセットのリストを表示します。
2. リストからプリセットを選択すると、プリセットに保存された値が自動的に適用されます。
- 既定値は変更できません。



プリセットを保存する

1. Recorder のメイン画面で、ゲインなどのオプションを選択したら、[≡] を選択します。
2. [保存]、[+] の順に選択します。プリセットの名前を入力して [作成] を選択し、新しいプリセットを保存します。

プリセットの設定

-  : プリセットの名前を編集します。
-  : プリセットを削除します。

録音画面

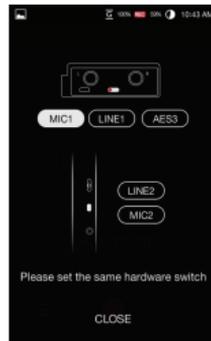


- 1 現在のトラック時間** 現在のトラックの録音時間が表示されます。
- 2 一時停止** 現在の録音を一時停止します。
- 3 停止** 現在の録音を停止して保存します。
- 4 録音時間** 現在の録音の合計時間が表示されます。
(ファイルを分割した場合にのみ表示されます。)
- 5 ファイル分割** 録音を複数のファイルに分割します。アイコンの上にファイルの合計数が表示されます。
(プレ録音またはモニタリングでは無効になります。)
- 6 ブックマーク** 現在の場所にブックマークを設定します。
(プレ録音またはモニタリングでは無効になります。録音フォーマットがDSDの場合には無効になります。)

録音

録音

1. マイクまたは外部デバイスを AK Recorder に接続します。
 - 電源を必要とするマイク: 本製品の底面にあるミニ XLR 端子に接続します。
 - 電源不要のダイナミックマイク/電源を必要とするコンデンサーマイク: 本製品の側面にある MIC2/LINE2 端子に接続します。
2. 録音の基本オプション (オーディオフォーマット、入力端子など) を選択します。
3. [●] を選択して、録音を開始します。一時停止するには [||] を選択します。
 - プレ録音の情報 (プレ録音時間の設定) が表示されます。
 - モニタリング機能が有効になっている場合、画面にモニタリング情報が表示されます。モニタリングを選択すると、リアルタイムで音を聴くことができます。ゲイン画面の音量設定とプリアンブ設定によって、音量が変わります。
4. ファイルを分割するには、録音中に [HH] を選択します。
5. 現在の位置にブックマークを設定するには、録音中に [▾] を選択します。(数字は、現在のファイルのブックマーク数を表します。最大で 99 個までのブックマークを保存できます。)
6. [■] を選択して現在の録音を停止し、保存します。



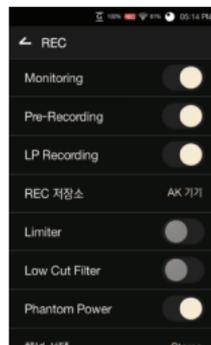
マイクまたは外部デバイスを AK Recorder に接続した場合には、本製品で適切な入力選択キーを選択し、メインメニューから入力端子を選択する必要があります。たとえば、48 V を必要とするマイクをミニ XLR 入力端子に接続した場合には、次の操作を行います。

- MIC 1/LINE 1/AES3 選択キーで「MIC1」を選択します。
- メインメニューで入力源に [MIC] を選択します。
- ファンタム電源選択キー (オフ/5 V/48 V) から「48 V」を選択します。
- [設定] でファンタム電源オプションを有効にします。

LP 録音

AK Recorder にターンテーブルを接続すると、LP 音源を録音できます。

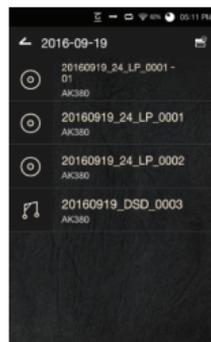
1. Recorder で [他の機能] を押して、設定画面で [LP 録音] を有効にします。



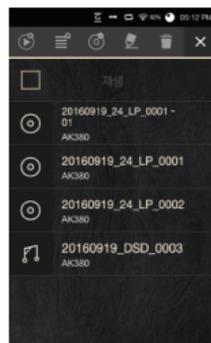
2. ターンテーブルと Recorder を接続して、LP 音源を録音します。



3. 録音が完了したら、録音ライブラリで右ボタン [📁] を押してください。
 - ファイルアイコン
 - 🔗 : 汎用の録音ファイル
 - 📁 : LP 録音モードで録音されたファイル (ファイル名に 'LP.' が付きます)



4. 解析する録音ファイルを選択して、上部にある [🔍] ボタンを押し、解析を開始してください。



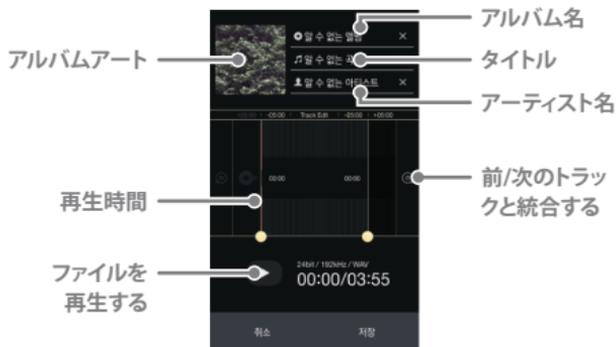
5. 録音された LP のメタデータを Gracenote から取得します。



6. データの取得が完了すると、解析したファイルの一覧が表示されます。分割した場合、分割ファイルが REC フォルダーに保存されます。



7. 分割トラック ファイルを押すと、ファイル情報を変更して再生できます。



LP 録音モードでは、32 ビット/24 ビット、352.8KHz/384KHz で録音できません。

LP 録音モードでは、ブックマークと分割機能を使用できません。

LP 録音モードの場合、Line 2 入力でのみ録音可能です。

音量ゲインが高すぎるか、低すぎると、正確な解析情報を得ることができません。

ターンテーブルの使用法については、ターンテーブルの取扱説明書をお読みください。

LP 録音モードで録音されたファイルを最大 4 個まで解析できます。別の LP 録音モードで録音したファイルを選択すると、正確な解析情報を得ることができません。

LP 録音モードで録音されたファイルは解析できません。

Gracenote のメタデータを取得するには、Wi-Fi で接続する必要があります。ネットワーク環境によっては、メタデータの取得に時間がかかる場合があります。

音源によっては、Gracenote にメタデータがない場合があります。

メタデータの取得中はホーム画面に移動できません。

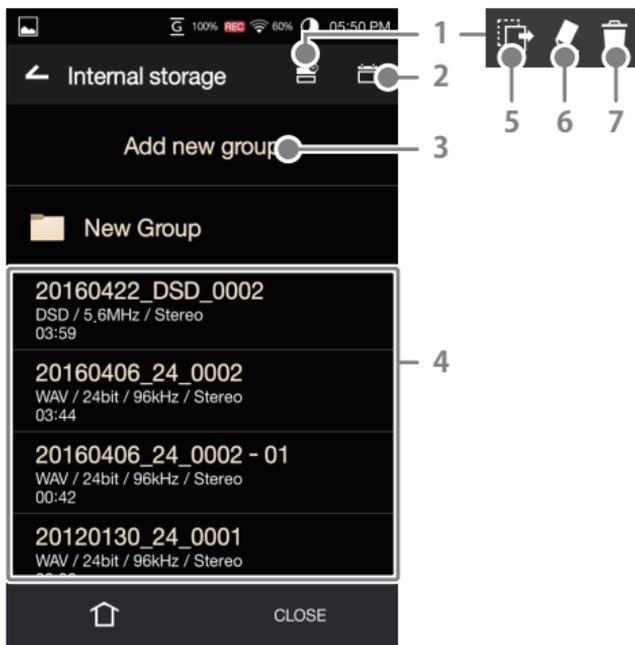
ファイルごとに再生時間を 1 秒から 5 秒または前に設定できます。

各トラックは、前または次のトラックと統合できます。ただし、統合できるのは、同じ録音ファイル内の分割トラックだけです。

分割前にファイルを変更できます。

ファイルリスト画面

[☰] を選択して、ファイルリスト画面を表示します。



1 編集	編集するファイルまたはフォルダーを選択します。
2 リスト (日付順)	ファイルは日付順に表示されます。
3 新規グループの追加	新しいグループを作成します。
4 ファイルリスト	ファイルのリストが表示されます。
5 移動	ファイルを移動します。
6 ファイル名の編集	ファイル名を編集します。
7 削除	ファイルを削除します。

ファイル 管理

録音グループを追加する

1. 内部ストレージまたは SD カードを選択します。
2. ファイルリスト画面から [新規グループの追加] を選択します。
3. グループ名を入力して [作成] を選択し、新しいグループを作成します。

ファイルをグループに移動する

1. 画面から [🗂️] を選択します。
2. 移動するファイルを選択して [📁] を選択します。使用可能なグループのリストが表示されます。
3. 必要なグループを選択して [貼り付け] を選択し、ファイルを移動します。

ファイル名を編集する

1. 画面から [🗂️] を選択します。
2. 必要なファイルを選択して [🖋️] を選択します。入力フィールドが表示されます。
3. 新しいファイル名を入力します。[名前の変更] を選択して、変更を適用します。

ファイルを削除する

1. 画面から [🗂️] を選択します。
2. 必要なファイルを選択して [🗑️] を選択します。確認のメッセージが表示されます。
3. [OK] を選択します。選択したファイルが削除されます。

再生

再生

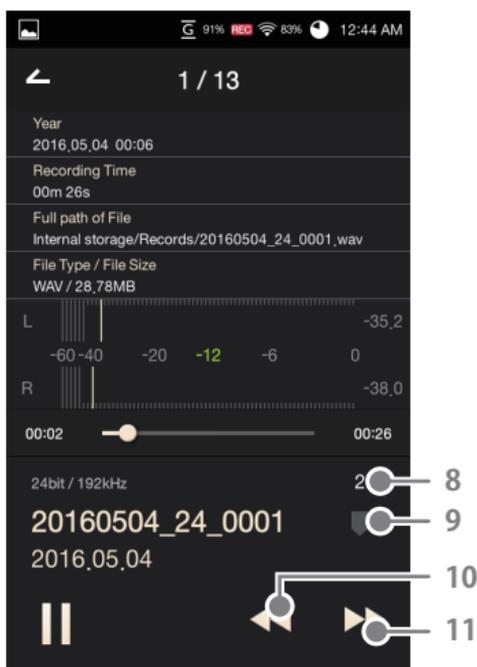
ファイルリストからファイルを選択して、再生を開始します。

- 再生を一時停止するには [⏸] を選択します。再開するには [▶] を選択します。
- 再生中に [◀◀ / ▶▶] を押すと、前/次のファイルが再生されます。
- 再生中に、進捗状況/バーを任意の場所にドラッグできます。
- [📄] を選択して、プレイリストの一覧を表示します。前/次のブックマークに移動するには、[◀◀ / ▶▶] を選択します。

再生画面



1	ファイル情報	ファイル情報が表示されます。
2	レベルメーター	音量がグラフィカルに表示されます。
3	進捗状況	再生の状況が表示されます。
4	フォーマット	ファイルフォーマットの情報が表示されます。
5	ファイル名	ファイル名と録音日が表示されます。
6	再生/一時停止	再生を一時停止または再開します。
7	録音時間	ファイルの合計時間が表示されます。



-
- 8 **ブックマークリスト** ブックマークのリストが表示されます。
-
- 9 **ブックマーク** ブックマークを有効にします。有効にすると、[◀▶]を選択してブックマークを移動できます。
-
- 10 **前のファイル** 前のファイルを再生します。
-
- 11 **次のファイル** 次のファイルを再生します。
-

安全上の ご注意

製品本体

- マイク端子またはラインイン端子にプラグを差し込む場合には、プラグを引っ張ったり、衝撃を与えないでください。プラグの接触部が破損したり、誤動作につながる恐れがあります。
- 本製品の端子に一致しないケーブルを差し込まないでください。
- 録音中、磁気の強い物体（磁石、TV、モニター、スピーカーなど）の近くに本製品を置かないでください。ノイズが発生する可能性があります。
- 録音中は本製品に触らないでください。ノイズが発生する可能性があります。
- 電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合には、ファンタム電源の設定を行う前にマイクの電源仕様を確認してください。誤った設定を選択すると、マイクが損傷する可能性があります。使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- イヤホン、バランス、USB ポートにプラグを差し込む場合には、プラグを引っ張ったり、衝撃を与えないでください。
- 本製品に金属物（硬貨、ヘアピンなど）や可燃性物質を挿入しないでください。
- 本製品の上に重い物を載せないでください。
- 本製品が雨、水、化学薬品、医薬品、化粧水、汗などで濡れた場合、製品の電源を入れずに、完全に乾かしてください。お近くのカスタマーサービスセンターに連絡してください。浸水による故障は、品質保証期間に関わらず修理代金が発生します。また、修理できないこともあります。
- 直射日光が当たる場所や、気温が極端な場所（-5°C ~ 40°C、23°F ~ 104°F）に本製品を放置しないでください（夏の車内など）。
- 高温で湿気が多い場所（サウナなど）で本製品を使用したり、放置しないでください。
- 埃、ちり、煙が多い場所に本製品を放置しないでください。
- 毛布、電気毛布、ホットカーペット上で本製品を長時間使用しないでください。

- 火気の近くや電子レンジ内に本製品を置かないでください。
- 本製品の分解、修理、改造をしないでください。
- AK Recorder を AK メディアプレイヤーに接続している場合には、本製品の電源を入れたまま、密閉空間に長時間放置しないでください。
- 磁気の強い物体（磁石、TV、モニター、スピーカーなど）の近くに本製品を置かないでください。
- 本製品に化学薬品や洗剤を使用しないでください。変色したり、表面のコーティングが剥がれる可能性があります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃（過度な振動など）を与えないでください。
- 複数のボタンを同時に押さないでください。
- 長時間同じ画像を表示していると、画面の焼き付きが生じる可能性があります。
- 入力端子に異物を挿入しないでください。

その他

- 乗り物の運転中に本製品でヘッドホン/イヤホンを使用しないでください。危険だけでなく、地域によっては違法行為となる場合があります。
- 運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。
- 事故防止のため、本製品を危険な場所では使わないでください。
- 移動時に本製品を使用するときは、周囲に注意してください。
- 感電の危険性を防ぐため、激しい雷雨のときは本製品を使用しないでください。
- 本製品の使用中または使用後すぐに耳鳴がした場合には、音量を小さくするか、本製品の使用を止めて医師に相談してください。
- 大音量で長時間音楽を聴かないでください。
- 大音量でイヤホン/ヘッドホンを使用しないでください。
- イヤホン/ヘッドホンが他の物体にはさまったり、絡まったりしないように注意してください。
- イヤホンをしたまま寝ないでください。また、イヤホンを長時間使用しないでください。

トラブルシューティング

一般的な問題の解決策を確認してください。

1. 本製品で録音できない。
 - 本製品の底面または側面にある入力選択スイッチが正しく設定されているかどうか確認してください。
 - マイクをミニ XLR 端子に接続している場合には、ファンタム電源が正しく選択され、[設定] メニューで有効になっているかどうか確認してください。
 - 録音の開始後に音が聞こえない場合には、適切なレベルになるまで、マイクとプリアンプゲインの値を増やしてください。
 - ストレージに十分な空き容量がないと、録音機能が正しく動作しない場合があります。
 - AK Recorder と AK メディアプレイヤーのバッテリー残量が 3% を下回ると、録音とモニタリングが停止します。バッテリー残量が 1% を下回ると、録音画面が消えます。
 - メディアスキャナーの実行中は録音を開始しません。
 - AES3 入力の場合、録音フォーマットが正しく設定されていないと、録音が開始しません。また、非対応のフォーマットを入力すると、録音が行われません。
2. 録音中に本製品が充電されません。
 - 5V2A アダプターを使用して録音している場合、本製品は満充電になりません。別売の 5V3A アダプターを使用してください。
3. 本製品が熱くなり、触れません。
 - 本製品は精密機器のため、長時間録音を行うと熱くなる場合があります。ただし、製品の性能や操作に影響はありません。長時間録音を行う場合には、三脚の使用を推奨します。
4. 録音中に画面が消えます。
 - 本製品を AK メディアプレイヤーと一緒に使用している場合、メディアプレイヤーで設定された時間が経過すると、AK Recorder の画面が自動的にオフになります。録音中に画面が消えた場合には、画面を軽く触れる则表示されます。

5. モニタリング機能が動作しません。
 - モニタリング機能が開始するまでに 2、3 秒かかります。この時間が経過すると、画面に「準備環境」が表示され、モニタリングモードに自動的に切り替わります。
6. 事前の通知もなく、ファームウェアのアップデートが突然開始しました。
 - 対応の AK メディアプレイヤーに接続すると、AK Recorder はファームウェアのアップデートを自動的に行います。ただし、バッテリーの残量が 10% 未満の場合にはアップデートを実行しません。
7. CD-Ripper または USB DAC モードを使用できません。
 - AK Recorder を AK メディアプレイヤーに接続すると、USB DAC モードと AK CD-Ripper は使用できません。これらのデバイスや機能を使用する場合には、AK メディアプレイヤーから AK Recorder を取り外してください。
8. ファイルの保存場所に microSD カードを選択すると、処理速度が低下します。
 - microSD カードのスピードクラスによっては、ファイルの書き込みに時間がかかる場合があります。スピードクラスが 10 以上の microSD カードを使用してください。
9. 録音中に AC アダプターを接続しても、バッテリーは充電されません。
 - 録音の際は多くの電力を必要とする為、AC アダプターを挿入してもバッテリー充電はせず、バッテリー容量を維持するのみです。

AK Recorder の仕様

録音チャンネル	2チャンネルステレオ録音	
オーディオ入力	3ピンミニ XLR MIC/LINE x2 (L/R)、AES3 x1 (L)	
	3.5 mm MIC/LINE x1	
	入力	ミニ XLR 3.5 mm
	アナログ	マイク (L/R) マイク
		ライン入力 (L/R) ライン入力
	デジタル	AES3 -
ミニ XLR 3ピンマップ	1:Ground (G) / 2: Positive (+) / 3: Negative (-)	
キーインターフェース	MIC1/LINE1/AES3 選択キー x1	
	MIC2/LINE2 選択キー x1	
	ファンタム電源選択キー x1 (オフ/5 V/48 V)	
バッテリー	4,700 mAh、3.7 Vリチウムポリマーバッテリー。Micro USB 充電	
連続録音時間	約 4 時間	
	(24 ビット/192 kHz WAV、外部マイクとファンタム電源 48 V)	
通常の充電時間	約 6 時間	
サイズ	80.7 (W) x 127.4 (H) x 29.9 (D) (mm)	
重量	251 g (8.9 oz)	
オーディオ 性能	録音ビットレート	WAV: 16/24/32 ビット、DSD64、DSD128
	サンプリング周波数	44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384 kHz
	周波数応答	10 Hz ~ 40 kHz
	A/D ダイナミックレンジ	116 dB A 特性帯域
	同等の入力ノイズ	Mic: -126 dBu、150 オームソース、A特性フィルター
	THD+N	Mic: 0.0004% 最大 (1 kHz、-15 dBu)/ ライン: 0.0006% 最大 (1 kHz、-15 dBu)
	ゲイン	Mic: 9 ~ 60 dB、3.0 dB 増 ライン: -96 ~ 22 dB、0.5 dB 増
	ローカットフィルター	40 ~ 240Hz 10 ステップ @ 6、12、18、24dB/oct
	コンプレッサー & リミッター	0 ~ -10 dBFS、2: 1 ~ 20: 1。リミッター、 1 ~ 1,000 ms アタックタイム、10 ~ 2,000 ms リリースタイム
	ファンタム電源	5 V/48 V
メディアとフォーマット		
録音メディア		
内部ストレージ	64 ~ 256 GB に対応	
microSD カード	最大 128 GB まで (推奨: SanDisk、Transcend) (Recommended up to Class 10)	
録音/再生フォーマット		
PCM	Fs	44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384 kHz
モード	ビット深度	16/24/32 ビット
	再生と録音	WAV
DSD	Fs	2.8224、5.6448 MHz (DSD64、DSD128)
モード	再生と録音	DSDIFF
チャンネル数	2 モノ、1 ステレオ	

メディア容量と録音時間			
録音モードの設定		NAND / microSD カード (GB 単位)	
PCM	WAV-16	44.1 kHz	1 時間 41 分 27 秒
		48 kHz	1 時間 33 分 12 秒
	WAV-24	44.1 kHz	1 時間 7 分 38 秒
		48 kHz	1 時間 2 分 8 秒
		88.2 kHz	33 分 48 秒
		96 kHz	31 分 4 秒
		176.4 kHz	16 分 54 秒
		192 kHz	15 分 32 秒
	WAV-32	352.8 kHz	6 分 20 秒
		384 kHz	5 分 50 秒
			32ビットで記録する場合、それだけ352.8、384 kHzのサンプルレートを選択することができます。
DSD	DSDIFF	2.8 MHz	25 分 22 秒
		5.6 MHz	12 分 41 秒
デジタル入力			
AES/EBU (バランス)			
コネクタ		ミニ XLR (1: GND, 2: HOT, 3: COLD)	
フォーマット		IEC 60958, AES/EBU	
入力周波数		44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384 kHz 16/24 ビットレゾリューション	
アナログ入力			
アンバランス			
コネクタ		3.5 mm ピンジャック	
最大入力レベル		+16 dBu	
バランス			
コネクタ		ミニ XLR (1: GND, 2: HOT, 3: COLD)	
最大入力レベル		+21 dBu	

DPA SC4061 マイク 仕様

放射パターン	全方向
周波数	20 Hz ~ 20 kHz
公称感度、1 kHzで ±3 dB	6 mV/Pa _{rms} -44 dB re. 1 V/Pa
同等のノイズレベル、A 特性	Typ. 26 dB(A) re. 20 µPa (最大 28 dB(A))
S/N 率 (A 特性)、 re. 1 Pa で 1 kHz (94 dB SPL)	68 dB(A)
全高調波歪 (THD)	< 1% THD 最大 123 dB SPL ピーク、 < 1% THD 最大 120 dB SPL RMS 正弦
ダイナミックレンジ	Typ. 97 dB
最大 SPL、クリッピング前のピーク	144 dB
電源	ファンタム電源 5 V
マイクの直径	5.4 mm (0.21 in)
マイクの長さ	12.7 mm (0.5 in)
ケーブル長	1.8 m (5.9 ft)
重量	7.5 g (0.26 oz)
温度範囲	-40°C ~ 45°C (-40°F ~ 113°F)

Ver.01



SC4061 マイクロフォンは、DPA マイクロフォンキットを購入した場合にのみ付属しています。

SC4061 は 5 V ファンタム電源専用マイクです。このマイクを使用する場合には、ファンタム電源スイッチ (本製品の側面にあります) を 5 V に設定してください。

音量とプリアンプゲインの設定が高すぎると、マイクでノイズが発生する可能性があります。

SC4061 は全方向タイプのマイクです。すべての方向からの音を録音します。

著作権

iriver Limited は、本取扱説明書に関連する特許、商標権、著作権、その他の知的財産権を保有しています。事前に iriver Limited の同意を得ずに本取扱説明書の内容を一部コピーしたり複製したりすることを禁じます。一部かすべてかを問わず、本取扱説明書の内容を複製または転用した場合、処罰の対象になります。

ソフトウェア、オーディオ、ビデオ、著作権で保護されたコンテンツは、関連する著作権法で保護されています。本製品の著作権で保護されたコンテンツを許可なく転用または配布した場合、法的責任が問われます。

サンプルで使用している会社、組織、製品、人物、イベントはすべて架空のものです。iriver には、本取扱説明書により如何なる会社、組織、製品、個人、エピソードとの関係を示す意図はなく、そのような関係を暗示させる意図もありません。本書の利用者は、準拠する著作権法を遵守しなければなりません。

©1999-2016 iriver Limited. All rights reserved.

認証

KC/FCC/CE/PSE

クラス B デバイス (住宅用情報/通信機): これは、クラス B デバイスとして登録され、住宅用の EMC 要件を満たしています。このデバイスは、住宅市街地以外の場所でも使用できます。



FCCID: PRF11

本製品は FCC 規定パート 15 に準拠しています。本製品の動作は以下の 2 つの条件を満たしています。(1) 有害な電波干渉を引き起こさない。(2) 望ましくない動作の原因となりうるものを含め、受信した電波干渉の一切を受け入れなくてはならない。

登録商標

Windows 2000、Windows XP、Windows 7、Windows 8、Windows 10、Windows Media Player は Microsoft Corp の登録商標です。

免責事項

製造業者、輸入業者、代理店は、本製品の不適切な使用および操作に起因する怪我や事故を含む損害に対し、責任を負いません。本取扱説明書の情報は、最新の製品仕様に基づいて作成されています。製造元である iriver Limited は新しい補完機能を開発中で、引き続き新しい技術を採用していく予定です。すべての仕様は事前の通知なく、変更される場合があります。弊社は、本製品の使用に起因するデータの消失に対して一切責任を負いません。